

【コロナ融資依頼書兼経営計画書作成事例】

融資依頼書兼経営計画書

1. 融資依頼書

融資希望金額	10,000,000円
希望金利	0%
借入希望日	2020年 8月10日
希望返済期間	据え置き期間2年後 2022年 9月10日～2030年 8月10日まで 10年返済
保全	なし
資金使途	コロナショックの影響による売上減への対応に必要な運転資金
返済資源	業績回復後、毎月の収益より返済
融資効果	廃業の防止・雇用の確保

2. 経営計画書

経営をとりまく環境	業界	コロナショックの影響により、業界全体で売上が60%減少
	売上	来店客数激減により、3月50%減少、4月休業のため100%減少、5月90%減少、6月60%減少
	予想売上	7月～9月 50%減少、10月～12月 40%減少、1月～3月 30%減少、4月～6月 20%減少 7月 10%減少
	業績正常化時期	来年8月ごろ
必要資金内訳	<p>・3月～7月の赤字 800万円 ・8月～来年7月の固定費の半分 660万円 (家賃50万円/月、人件費20万円/月×3名)</p> <p>残り固定費の半分については、 持続化給付金 200万円、家賃支援給付金 200万円、代取からの借入 60万円にて補填予定</p>	
業績回復の見通し	<p>現在、コロナウイルスの感染者数が減少する気配がなく、来店客数は回復するものの、その回復傾向は鈍く、以前のような来店客数に戻るのには、1年程度かかると予想。コロナの影響がなくなれば、下記、業績回復のための具体的施策の実行も併せて、以前以上の収益確保は可能</p>	
業績回復のための具体的施策	<p>(売上増強策) ・SNSによる情報発信力強化 ・コロナ対策をしっかりとおこなっていることを既存顧客へしっかりと伝え、来店を促す ・新メニューの開発 ・テイクアウト商品開発 ・資金調達を兼ねたクラウドファンディングでの告知</p> <p>(経費削減策) ・アルバイト従業員1名削減 ・仕入れ先の見直しによる原価率低減 ・家賃引き下げ交渉</p>	